

令和元年度 第1回 行政改革推進委員会 議事録（要旨）

1 日 時 令和元年5月17日（金） 15時00分～16時30分

2 場 所 糸島市役所 本庁舎 本館3階 庁議室

3 出 欠

(1) 出席者

(委 員) 村藤会長、西副会長、石長委員、岩井委員、佐藤委員、藤原委員、松嶋委員、
吉岡委員、高山委員

(事務局) 馬場部長、市丸課長、久我課長補佐、森主幹

(2) 欠席者

(委 員) 十時委員、河野委員

(3) 傍聴者 なし

4 会議結果

【会議次第】

1 会長あいさつ

2 報告

(1) 令和元年度外部点検について

(2) 外部点検当日の進行について

3 協議

(1) 令和元年度外部点検の点検施策選定について

4 その他

【議事概要】

報告

(1) 令和元年度外部点検について

事務局より、外部点検実施要領を説明後、質問等を受ける。

質問等なし

(2) 外部点検当日の進行について

事務局より、当日の進行を説明後、質問等を受ける。

質問等なし

A委員

- ・何度か傍聴した際に、皆さんの声が聞こえなかった。前回、マイクを使っていたが、だんだんマイクを使わず、そのまま話すようになる。そうすると後ろの方で傍聴している人が聞こえない。マイクを使っていたとすることを徹底して頂きたい。

事務局

- ・事前に担当課に徹底する。

協議

(1) 令和元年度外部点検の点検施策選定について

事務局より、選定方法について提案する。

質問や他の選定方法の提案なし。事務局提案方法で、各委員了承
次に、候補の各施策に関し、選定のために必要な質問等を受ける。

B委員

- ・ 4 (保育などのサービスの充実を図る) の最後「点検施策の選定に当たっての留意事項」について「保育サービス向上より、保育ニーズの拡大のスピードが速く」とは、具体的にどういうことか。

事務局

- ・施策担当課から出された施策評価に基づいて記入している。具体的にどのサービスが影響しているかまでは述べられていないが、やはりニーズが高まっており、市としても対応はしているがニーズの拡大スピードが速く、今後待機児童が増加する見込み。あくまでも昨年度の評価の段階でこのような判断を担当課がしているということ。

会長

- ・いろんな自治体で、子どもが増えないので保育所を建てないという計画を立てている。子どもの数は増えないのに、働きたい母親が多くなっている。幼稚園のニーズは減るのに保育園のニーズは増える。自治体の計画では対応できないと言うのが現状。働きたい母親が働けないという大きな問題になっている。

C委員

- ・課題や喫緊性等(着目点は)いろいろあるが、選定の基準とするものはこういった着目点とすべきか。

会長

- ・(着目点は)皆さんの自由でかまわない。ここに出ている施策は全て重要。皆さんそれぞれの着目点で選定して頂いて良い。

次に、各委員の意見(点検したい施策とその理由)を聴く。

B委員

- ・ 4 保育などのサービスの充実を図る を選ぶ。理由は、今後糸島市が発展する中で、子どもが育てやすい環境は大事だと思う。保護者が働きながら育てやすい環境が大事。その中で、成果指標の「保育などのサービスに満足している市民の割合」が

かなり低いと感じた。なぜ低いのかと言うことを突き詰めて、今後課題とするのが大事と思う。令和2年度の目標が25%になっているが、今後どういった指標を設定するのがいいのか考えていかななくてはならないと思う。今、成果指標として定められている「幼保一元化と小規模保育の施設数」や、「病児・病後児施設の受入数」なども大切だが、それと合わせて本当に課題となっている事項、最新の課題を踏まえて、指標を作って行ければいいと思う。

- ・ 2 市民協働の健康づくりを推進する を選ぶ。小さい子から高齢の方まで健康に暮らせるということが大事と思う。成果指標となっている健康づくりに関わるボランティア団体加入数や、小学校区ごとの健康講座実施率なども大事だとは思いますが、毎年100%となっているものが本当にこの施策を実施するのに適切な成果指標なのか、見直しの必要があるのではないかと思う。

C委員

- ・ 2 市民協働の健康づくりを推進する を選ぶ。寝たきりになりそうとか夫婦共に寝たきりだとか、食事の準備が出来なくなって毎食コンビニ弁当になっているとか、免許の返納で悩んで苦しんでいる人が居るなどあり、これらを考えると、市民協働の健康づくりと言うのは大事だと思う。
- ・ 16 観光情報の積極的な発信、提供を行う を選ぶ。今は、糸島市にとって全国的に名が挙がっている時期。名刺を渡すたびに反応があり、一番ブランド化をしやすい時期ではないかと思う。そんな時期にいちばんダメージを与えるものは何かを考えると、子どもに関する事件などではないかと思う。それにきちんと対応できることが大事だと思う。あと、HPアクセス数の伸び悩みなど、今きちんと見直す必要があると思う。

D委員

- ・ 4 保育などのサービスの充実を図る を選ぶ。他の委員さんも言っていたように、(成果指標の)「保育などのサービスに満足している市民の割合」の目標が25%と低い。また、自分は事業13のファミリーサポートセンターに関わりがあるが、そこで感じるのが保育士さんや保育所、幼稚園、学校、それぞれの組織がバラバラで、情報共有もされていないし、共有できない状況であるということ。なかなか浸透させるのが難しく、市民のニーズに合った活動をするのに苦慮している。いろんな事業や課題を抱えている部署が、解決につながるような施策を見つけて行ければと思う。
- ・ 14 地域資源を生かした観光を確立する を選ぶ。地域資源を生かした「体験型観光」を進めていくというところに共感している。以前、近所の畑に観光用の乗り物が突っ込んだ。子どもの帰りが5分遅ければ危険だった。そこで思ったのが、今、インスタ栄えとか写真撮ったりとかで、突っ込んでみきゃあ言っているだけで、あまり地域の人を大事にしてくれていないということ。危ないなとも思った。個人的に言うと、糸島は素敵な方が多いし、滞在してこそ分かると思うので、体験とか滞在を

通して、市外の方にもっと糸島を愛してもらうような観光を作っていければいいなと思う。

E 委員

- ・ 3 子供を安心して生み育てられる環境の充実を図る と
- ・ 4 保育などのサービスの充実を図る を選ぶ。同じ統括課と言うことで、当然関連があるが、 3だと、(成果指標)「出産・子育て環境に満足している市民の割合」が40%近くあるのに対して、 4の(成果指標)「保育などのサービスに満足している市民の割合」が目標でも25%とかなり減少している。何らかの問題があって減少していると思うので、そういった、子育てから保育までの関連した指標を比較しながら、全体として良い施策が作れればと思う。今、九大伊都キャンパスの全学移転が完了し、これから、九大関係者や関連企業の方々が移住してくることも多いと思う。それに伴う住宅整備もされていくと思うので、子育て環境の整備と言うのは、糸島市にとって重要な課題と思う。その方々がずっと定住してくれるような施策を、今の内から作っていくのが大切なのではと思う。

A 委員

- ・ 1 市民の健康管理体制の充実を図る を選ぶ。この施策は、7億2千万円と言う多額の予算が付いている。内容は早期発見、早期治療と言うことで医療費の抑制が目標とされている。指標を見てみると、がん検診などの受診率等が低い。これだけの予算を使っているのに、なかなか受診率が伸びないということは、もう少し考える所があるのではないかなと思う。成果指標で「後発医薬品(ジェネリック医薬品)普及率」がいきなり出てくるが、これがどこから出てきたのか気になる。施策の成果が適切に測れるように指標を見直す必要があるのではと思う。また、事務事業の12番(医療費適正化対策事業【国保特会分】)と13番(保険事業費【国保特会分】)は、健診後のフォローや、健診に行かなかった人への対策等で受診率を上げることを目的としていると思うが、その効果を知りたい。また、夜間の救急センターに予算がたくさん割かれている。人がたくさん行っていると思うが、何か対策は無いかな、と思う。14番(特定健康診査等事業費【国保特会分】)は6400万円位割かれていて、なぜ、高齢者のみにこれだけの予算が割かれているか理由を知りたい。12番との差がわかりにくく、12番と一緒にしてもいいのではないかなと思う。
- ・ 14 地域資源を生かした観光を確立する を選ぶ。昨年の糸島市長の施策方針として、稼ぐ市を作る、と言っていたと思う。稼ぐと言えば、観光は重きを置く所と思う。稼ぎ方にもいろいろあって、地域住民と密着し共同で稼ぐと言うか、協働で推進させていくもの。観光だけ進めるのではなく、地域住民と一緒にやっていくということで、ゴミや観光客のマナー、自転車の乗り捨てなど、そういったことを地域と一緒にやっていくと言うようなことを考えていけたらと思う。

F 委員

- ・ 4 保育などのサービスの充実を図る を選ぶ。共働きで子育てをするニーズが増えている事と、特に人口動態を見ると、今住んでいる人の保育ニーズと併せて、これから子育て世帯が増えてくることは確実と思われる。これから保育ニーズ自体が増えることを考えると、比較的優先順が高いと思う。 3 (子供を安心して生み育てられる環境の充実を図る) の (成果指標) 「出産・子育て環境に満足している市民の割合」の水準と 4 の (成果指標) 「保育などのサービスに満足している市民の割合」の水準がかい離している。時系列で見ると、改善しているのかなとは思いますが、そのかい離の理由が気になる。
- ・ 14 地域資源を生かした観光を確立する を選ぶ。昨年度末にDMOが設立されて、今年度から地域の観光の事業の計画を立てていくことになろうかと思う。その方向性とか、地域の観光の方向性とか、今年度から決まっていくと思うので、この段階で皆様から色々な意見を頂きながら、観光について考えることは重要と思う。併せて、昨年までにモニター事業等も行われている様なので、その成果がどうなっているのか知りたい。

G委員

- ・ 2 市民協働の健康づくりを推進する を選ぶ。校区内で健康づくりなどの事業に携わっているが、担当課から出てくる諸問題について、色々聞きたいこともある。
- ・ 7 豪雨による浸水被害 を選ぶ。自分の住んでいる地区がターゲットになっており、昨年度で事業がかなり実施されていたと思う。今後どうなっていくのか気になる。
- ・ そのほかにも、 10 防災・救急体制の充実を図る も気になっており、人材に関して、消防の高度な技術を持った職員が市役所の消防ではない部署にいる。それで、防災救急体制の充実につながっているのかと言う疑問がある。
- ・ 14 地域資源を生かした観光を確立する も糸島の観光と言うか商工関係もだが、糸島の会社が、糸島についてもっと知り、観光資源が糸島にはたくさんあるんだということを勉強しなくてはならないと思う。

H委員

- ・ 4 保育などのサービスの充実を図る を選ぶ。少子高齢化や生産年齢人口の減少は日本全体の問題である。具体的には保育サービスが直接効果があるような施策ではないか。これから女性労働者が増える為にも、こういったことが充実していないと難しい。具体的なサービスが充実していると、若い人も来やすい。
- ・ 14 地域資源を生かした観光を確立する を選ぶ。糸島は自然やロマンや歴史や九大等また、福岡市と言う大都市の隣であるという強みを生かして、まだまだ生かせる地域資源があるのではないかと思う。

会長

- ・ 4 保育などのサービスの充実を図る を選ぶ。待機児童数が成果指標に入って

いない。働きたい母親比率がもともと増えていることに加え、消費税増税による（保育サービスの）無償化などで、また増えてくるかもしれない。これらをどうするつもりなのかを伺いたい。金額が32億円で一番大きい。2番目に金額が大きいのは3（子どもを安心して生み育てられる環境の充実を図る）だがこれは児童手当など、法律で決まっている。糸島市に裁量が無い事業が多いようなので、4の方がいいと思った。

- ・ 14 地域資源を生かした観光を確立する を選ぶ。漁業や観光など、糸島市の強みをどう生かしていくの、皆さんからいろんな意見を賜って、それを生かすことができないかと思う。そういう意味では、13（漁業における市場開拓、ブランド化を推進し、担い手を育成する）や15（観光基盤を整備する）なども興味があるが、その中でも14が色々広く捉えられるのではないかと思う。

会長

- ・ 皆様の意見を聞いて、これは聞いてみたい、とか意見がある方はどうぞ。

G委員

- ・ 7 豪雨による浸水被害 の成果指標で「 施策評価で追加」の意味は何か。

事務局

- ・ 施策の成果指標は、基本的に長期総合計画の後期基本計画で定められたものだが、原課がそれだけでは施策の進捗度を言い表せていないと判断し、指標の追加を申し出るケースがあり、そのように表記している。

G委員

- ・ 高田地区整備事業が0%から23%となっている。追加したのに0%と言うのはどういうことか。

事務局

- ・ 高田地区の整備がH28から始まっているので、その前は整備をしていないので0となっている。今の長期総合計画が令和2年度までなので、令和2年度までには、この高田地区の整備と言う事業の進捗率が、だいたい23%まではいくということ。

G委員

- ・ 進捗率23%と言うことは100%があるということだが、その100%はここでは出て来ないのか。

会長

- ・ 長期総合計画の後期基本計画は現在4年目で来年度まで。H28年度から始めて、23%までしか終わらないので、次の長期総合計画には、この高田地区の整備が恐らく入ってくるということと思われる。

事務局

- ・ 4（保育などのサービスの充実を図る）の待機児童の関係で目標が設定されていないという意見があったが、H28年頃は待機児童が0人だった。昨年位から急に多く

なり、今年の4月には待機児童が84人、入所保留児童数（待機児童含む）が241人いる。人口の急増、子育て世代の転入があり、市としても、子育て世代をターゲットにしてきたが、ここまで急に伸びてきた中で、保育施設が対応できていない。保育所は全て民間に移行してきた関係もあり、前までは待機児童の目標を設定していなかった。今後は待機児童を0人にしていかなくてはならないと市でも対策を進めている。待機児童を設定していないのは、指標作成時に待機児童の問題が発生していなかったためである。

会長

- ・事情は分かったが、今0人じゃない以上、0人を目指すということで、今後（保育サービス）無償化で、もっと（待機児童数が）増えるということで、どのようにされようとしているのか。

事務局

- ・一番の問題は人材不足。保育士の確保が難しい。保育士の資格は持っているが、働いていない人もおり、そういった保育士の取り合いの状況が発生している。

会長

- ・状況がさらに難しくなる中で、糸島市がどの様に取り組むか伺って、皆さんの意見を伺いたいということになる。

各委員からの意見終了

次に、挙手による選定。（欠席委員からは出席委員の決定に従う旨連絡有）

【結果】 1 1票、 2 3票、 3 0票、 4 6票、 5 0票、 6 0票、
7 1票、 8 0票、 9 0票、 10 0票、 11 0票、 12 0票、 13 0
票、 14 6票、 15 0票、 16 1票

事務局

- ・結果に基づき、上位2つの 4と 13 を外部点検施策に選定し、 4を8月1日に、14を8月2日に点検することと決定してよろしいか。

各委員了承

A委員

- ・これまでの外部点検の結果、（点検施策に関する事業が）どのように改善され、現在どのようになっているか、定期的に教えて頂けるようになっていたか。

事務局

- ・昨年度、それまでのフィードバックを行った。来年度、制度を見直す予定なので、H28～R1の分を再度知らせたい。今年度の分は、どういう風に変ったのかをどの程度

お示しできるか不明だが、昨年、それまでの分はフィードバックしたので、それも含めて、来年度どういった改善をしてどのように進んでいるかは整理してお知らせしたい。

A委員

- ・外部評価を受ける人（担当課）から、評価のやり方について要望や意見等はでていないのか。受ける人がどう感じているのか知りたい。

事務局

- ・毎年、コーディネーターと担当課で振り返り会議を行い、意見交換はしている。制度についての話もする。それを受けて、制度も少しずつ見直している。事前質問と回答のやり方などを見直している。今後、委員の皆さんにもお伝えするようにする。

会長

- ・今年度の外部点検は、次の長期総合計画に反映される可能性はあるのか。

事務局

- ・外部点検を受けた担当課長・係長が今から、次期総合計画の具体的政策・施策を検討していくので、外部点検での意見は反映される可能性はある。我々も事務局として、いいと思う意見は反映させる。

会長

- ・次の長期総合計画の施策の評価基準を、こうしたらよいというような意見もありと行うことか。

事務局

- ・特に指標などについての意見は、次の総合計画にどう生かすかと言うことで、担当課も考えると思う。計画がある程度固まってきたら、特に指標の設定などは、この委員会の意見も聞いて進めていきたいと思っている。

協議終了